

ものづくり補助金活用事例紹介 第31回

ドライブレコーダーの動画を解析して 眠気レベル等を判断する AIの試作開発

第31回目は、「株式会社サンクリエ」(平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金)の取組について紹介します。

会社の概要

ドライブレコーダーの動画を解析して眠気レベル等を判断するAIの試作開発を行なっています。同社は、企業が抱える様々な課題を解決する販売管理システム「Piece Works」の開発・販売をメインに、近年は、北海道大学との共同研究でAI(人工知能)の研究・開発にも取り組み、バーコードの代わりに商品の写真で在庫管理を行う「写真de在庫管理」やAIが顧客情報を社内で蓄積したデータから需要予測などの「気づき」を与えてくれるETツール「smartNexus」など、企業向けの多様なツールの開発に取り組んでいます。

同社は、企業が抱える多くの課題を解決する販売管理システム「Piece Works」の開発・販売をメインに、近年は、北海道大学との共同研究でAI(人工知能)の研究・開発にも取り組み、バーコードの代わりに商品の写真で在庫管理を行う「写真de在庫管理」やAIが顧客情報を社内で蓄積したデータから需要予測などの「気づき」を与えてくれるETツール「smartNexus」など、企業向けの多様なツールの開発に取り組んでいます。



AIが正常・異常な運転を学習し、居眠り・携帯電話使用、ふぞろ見などの異常を検知する
AIによる動画解析

株式会社サンクリエ

代表取締役 森 正人

〒060-0012
札幌市中央区12条西23丁目2-5
SDC北12条ビル5階
TEL 011-611-6364 FAX 011-621-5746
HP [https://www.suncreer.co.jp/](http://www.suncreer.co.jp/)

レコーダーの撮影動画をAIが分析し、運転者がよそ見や居眠り、携帯電話使用などの行動をとった場合に異常運転として自動検知し、映像管理者に知らせます。

開発には、膨大な運転動画から正常運転と異常運転を細かく分割したデータを作成し、それをAIに学習させることで異常を検知することができます。

このシステムを導入することで、運転指導を行い重大事故の防止につながるほか、管理の負担やコストが大幅に削減されます。

今後は、リアルタイムで異常行動を検知し、運転者に警告する機能のほか、急ブレーキや急ブレーキなどの車の異常も検知できるようさらなる改良に取り組みます。

さあさまで運転パターンを学習



AIが正常・異常な運転を学習し、居眠り・携帯電話使用、ふぞろ見などの異常を検知する
AIによる動画解析

ものづくり補助金申請の経緯

平成28年1月に発生した軽井沢スキーバス転落事故をきっかけとして、国土交通省が再発防止に向けて平成29年12月から運転手への指導・監督を目的とした養成バスへのドライブレコーダーの設置を義務化したことを受け、運送業界においてドライブ

AIでさまざまな分野の課題解決に挑む

同社では、本事業によるノウハウを活かし、介護現場を支援するシステムの開発にも取り組んでいます。このシステムでは、AIがカメラとセンサーで人の動きを観察し、異常があればスマートウォッチを開発したシステムは、運転後に回収したドライ

おりに

森正人代表取締役は、「AIは学習させれば人間が判断する程度のことはできますが、コストがかかりすぎることが中小企業には導入のハードルになってしまいます」とし、同社では、AIシステムの販売価格をできるだけ抑えることで、より多くの道内中小企業への導入を目指します。

また、一般には馴染みの薄いAIですが、仕事や生活に欠かせないものとなる日はもうすぐそこまでいると感じました。